

しおさい通信

No. 29

平成26年11月号

指定就労継続支援B型事業所 しおさい
三崎：銚子市三崎町 3-82 TEL：0479-23-9012
春日：銚子市春日町 2058-1 TEL：0479-25-3475
HP：http://npo-new.org/

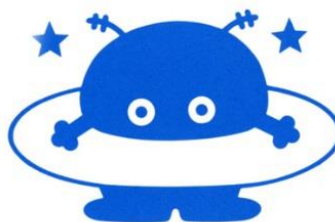


社協バスハイク

10月25日（土）、銚子市社会福祉協議会による「在宅障がい者交流事業」（バスハイク）が行われ、茨城県つくば市のつくばエキスポセンターへ行きました。

これは、体が不自由なことなどの為に、社会参加することが少ない在宅障がい者が、ボランティアと共に交流を楽しみながら社会性を身につけるとともに、ボランティアを通し、健常者に障がい者を理解してもらうことを目的として行われた行事で、今年は、しおさいから春日メンバー5名と職員1名、ボランティアさん1名が参加しました。

エキスポセンターは、最新の科学技術や身近な科学を楽しみながら体験出来る施設で、参加した皆さんは楽しいひとときを過ごしました。



黄色いレシートキャンペーン贈呈式

10月11日（土）、イオンモール銚子において、2014年度上期イオン黄色いレシートキャンペーン贈呈式が行われました。今回は、ボーイスカウト銚子第2団の関係者として出席した岩野さんが、しおさいのギフトカードも受領し、お礼のあいさつをしました。

お蔭様で多くの皆様のご協力により、15500円の配分がありました。頂いたギフトカードで、パンラベル印刷用プリンターのインクカートリッジを購入しました。

イオン担当者のお話しでは、このキャンペーンについてはだいぶ認知度が上がったが、いまだに知らない人も多いのが現状で、黄色いレシートの回収率はまだ低いとのことでした。折角の黄色いレシートですので、もしも忘れて持ち帰ってしまった場合は捨てずに、ご面倒でも次月以降の11日に「しおさい」BOXへ投函して頂くか、しおさいへお持ち下さいますよう、よろしくお願いします。



▲あいさつをする岩野さん



▲贈呈式後の記念撮影

B型事業所職員研修会 参加

10月23日（木）、旭市にあるロザリオ聖母会の中沢ホールにおいて「就労継続支援B型事業所等向け研修会」（主催：千葉県障害福祉課、NPO法人千葉県障害者就労事業振興センター）が行われ、香取・海匝地域から38名の施設職員が集まり、しおさいからも常勤職員6名が参加しました。

研修会の第1部は座学で、千葉県障害福祉課の職員が、「障害者総合支援法及び基準条例の基礎」、「基本的な就労支援事業会計の解説」について図を示しながら説明しました。そして最後の「工賃実績を集計して見えてきた課題」では、千葉県内の施設を集計すると、利益金額より工賃支払額の方が多くなっていると指摘した上で、別会計などからその不足分のお金を補っている施設がかなりの割合で存在する実態が明らかになったことが知らされました。県内には、工賃の向上どころか現状の工賃を維持するだけでも大変な苦勞をしている施設のあることが分かる驚きの報告でした。（しおさいではそのようなことは行っておりません）

第2部はグループワークで、あらかじめAからIまでの9グループに分けられていた参加者が、各グループ内で管理者側と職員側に分かれ、通所者から工賃をもっと増やして欲しいと相談を受けた職員が管理者に報告をしに行ったという寸劇のやりとりを基にして、それぞれの立場（管理者：現状を踏まえて今すぐ工賃を増額することには消極的、職員：工賃を増額してあげたい）で意見を述べ合い、相手を説得させるという“ディベート”に似た方法で行われました。最終的に管理者側あるいは職員側が相手の説得に成功したというグループもあれば、双方譲らず引き分けというグループもあり、普段“和をもっと貴くとうとくしとなす”という極めて日本人的な考え方や発想の下、論戦することが少ない私たちにとって、貴重な体験となりました。

～編集後記～

銚子商業高校の生徒たちが、脱線事故で運転が出来なくなっている銚子電鉄の電車を復活させようとしていたクラウドファンディング（CF：ある目的や志などのため、ある一定期間に不特定多数の人から資金を集める行為）が、目標金額の300万円を大きく上回る484万3000円に達して見事成立しました。銚子商生のその努力は賞賛に値します。銚子電鉄を応援したいと思った全国の人々とともに拍手を贈りたいと思います。実はしおさいにも先日、CFを利用して資金を集めませんかという文書が送られて来ましたが、良いアイデアが無かったのと、CF自体が良くわからなかったのであきらめました。世の中の流れについて行くのが大変だ。